

製本のススメ

Vol. 5

6月の花嫁は幸福になれるという欧州の習慣も クリスマス同様すっかり馴染んでしまいましたね。雨の季節も それなりに楽しく過ごしたいものです。

今回は伝票のお話

製本仕様にもいろいろありますが この伝票製本は釣りで言うなら『へら釣り』みたいなものです。簡単そうですが結構繊細で難しい。それだけに印刷の良し悪しがすぐにでてしまいます。

伝票類は製本の中で【端物(ハモノ)】と呼ばれており、昔は職人見習いの練習材料でもありました。しかしながら 印刷の基本や紙を扱う基本技術が集約されており新人は まずベテランに付いて追廻し(作業の助手)をしながら紙の扱い方・揃え方・糊の付け方等の基本技術を身につけたわけです。機械化が進んできたとは言ってもビシッとした伝票に仕上げるには、かなり熟練した技術が必要なのです。

さて ビシッと製本するために いくつか印刷での注意点をあげてみました。

- ☆まずは用紙の断裁(紙屋さんには直角を正確に！と 注文をつけて下さい)
 - ☆次に印刷の針位置(紙のカドなら何処でも良い訳ではありません)
 - ☆また何面も面付けする場合には版のピッチ(オクリとも言います)は揃えておかないと製本できません
 - ☆当然 紙目のタテ・ヨコも頭に入れておきましょう(ススキの3で読みましたね)
- 一般的に**便箋の様な仕様では用紙のサイズと印刷位置は揃えておくのが普通です**

最近多いのは、中身は8面付けなのに、表紙だけ3面印刷というような刷り方。これはダメのお手本みたいなもので納期遅れと製本代のアップに直結する大問題です。時折り一冊づつでないとな製本できない洒落たデザインの物もありますが、それ以外は同一サイズの用紙に印刷してください。



Teabreak

健康診断はお済みですか？ 近頃では頭の中まで検査してくれる脳ドックが流行です。文字通り脳の検診なわけで、脳卒中やクモ膜下出血などの怖い病気が早期発見できるそうです。ちなみに 40代で約 4割近い人が脳卒中(ボケを含む)の要因を持っているとか。つまり 40代が 10人集まると、そのうち 4人は危ないって事ですね。身体は元気でも頭が心配(?)な人には、ぜひおすすめ！

by (株) 井関製本